

## 専門部長について

### <提案、要望の出し方>

・各大会後に専門部員で反省会を持ち、その意見を専門部長が取りまとめ、専門部長在籍校の理事に理事会で発言してもらう。または、本部に連絡、メールを送信する。各大会後に反省会がもてない場合は、他の大会(連盟の大会等)で時間を取るか、冬休み中に年度反省として専門部会を開く。(希望する専門部会のみで、中体連からの依頼文発送)

\*そこに提出した要望内容を3月の年度末反省理事会にて専門部長が代表提案を行う。

### (注)

・様々な要望内容が上げられてきても、専門部全体の意見でなければ認めることが出来ない。また、要望内容に関係する該当校の理事もその現状等を把握していることとする。

・大会前の専門部長会では、専門部長に理事会での決定内容を伝え、協力をお願いする場であって、提案、要望等を検討する場ではない。

\*その大会に対する要望等であれば、事前に上記の手続きで要望、提案を行う。

\*今後のことであれば確認することが出来る。

### <大会運営について>

・専門部長会での確認事項内容がその中心となる。

・運営側として、各校顧問と協力し、大会運営にあたる。(係り分担、実施方法、申し合わせ等)

### <大会実施の判断>

・大会実施の判断については、屋外種目専門部長と鳥羽志摩大会となる時の卓球専門部長は出席してもらう。(定期船航路で濃霧の判断が必要な場合は、該当種目の専門部長も出席)

・雨天時については、屋外種目は順延、延期とするが、それ以外で会場等で大会が実施できない状況、あるいは、開始時間を遅らせなければいけない状況等が発生した場合の判断は専門部長と本部とで協議する。

\*大会途中での中止決定、中断等の判断については、各種目大会長、派遣理事、専門部長で協議し決定する。(本部との連絡、連携をしっかりと行う)

### <専門部で任される範囲>

・大会での対戦方法

\*大会日程、終了時間、試合数、参加ペア数、エントリー数が規定通りであれば、トーナメント、リーグ戦のどちらでもよい。

\*試合規定:一日サッカー3試合、バスケ3試合、野球3試合等を行わない。

・雨天時で日程が大幅に延び、プレーオフ等の絡みから、試合運営を変則的に行わなければならない時は事前にその可能性も含めて専門部で協議し、要項作成時に盛り込んでおく。

・中体連大会と別大会が重なって運営面で困難な状況が考えられるときは、早い段階で専門部で協議し、理事会に提案する。